

感染症発生状況

令和5年8月23日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年8月14日（月）～8月18日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】233名 【職員】9名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】46名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（105名）、咳・鼻水（55名）、下痢・腹痛（28名）、嘔気・嘔吐（5名）

疾病別：新型コロナウイルス感染症（21名）、胃腸炎（13名）、ヘルパンギーナ（9名）、
気管支炎・肺炎（5名）

【職員】症状別：熱（3名）、下痢・腹痛（2名）、頭痛（1名）

疾患別：新型コロナウイルス感染症（4名）

**夏風邪、ヘルパンギーナはピークは過ぎて下火になっています。
しかし、新型コロナ感染はジワジワ拡大していますので、引き続きご注意ください。**

【症状別の発生状況】

新型コロナウイルス感染症 玉山地区、厨川地区、河北地区で増加しました。

盛南地区、河南地区で減少しました。

胃腸炎

河北地区、盛南地区で増加しました。河南地区で減少しました。

ヘルパンギーナ

玉山地区、河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎

玉山地区で増加しました。河北地区、都南地区で減少しました。

【県の状況（8/7～8/13）】

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は16.95人となりました。盛岡市や奥州・一関・宮古地区でクラスターの発生が計8件あり、その内訳は医療施設や福祉事業所、教育保育施設、高齢者施設でした。例年、お盆明けは、患者数の増加する傾向が見られるため、引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認を行いましょう。

ヘルパンギーナは、依然として警報値の6人を超えていますので注意が必要です。本症は発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とし、乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患です。まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎などを合併することがあるので注意が必要です。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを行ってください。

RSウイルス感染症は、県内の多くの地域で発生報告がありました。本症は、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。症状は風邪様から肺炎まで様々ですが、初感染の乳幼児や高齢者では重症化する場合があるので注意が必要です。予防には咳エチケットや手洗いのほか、ドアノブや玩具の消毒も効果的です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】